



「ほっとルーム」だより

第203号 令和7年7月1日発行
いちき串木野市家庭教育支援連絡協議会
(子どもみらい課内 TEL 33-5618)

みんなが笑顔で過ごすために

早めの気づきがポイントです



こどもが楽しく生き生きと生活を送るためには、得意なことや苦手なことに気づき、その特性をよく理解しながら、適切に支援することが大切です。そのためには、家庭での早めの気づきが大切になります。

★ 気づきのポイント ★

【学習の場面】

- 忘れ物が多い。
- 片付けが苦手である。
- 着席することが苦手で、離席が多い。
- 計算はできるが、文章を読むことが難しい。
- 動きがぎこちない。

【生活の場面】

- 思ったことを、そのまま言葉にしてしまう。
- 注意されても、同じ事を繰り返してしまう。
- こだわりがあることから、スムーズに行動することが難しい。

【遊びの場面】

- 一人で遊ぶことが多い。
 - ・ 自分の思いを伝えることが苦手である。
- 友達とすぐにけんかになってしまう。
 - ・ 順番を待つことが難しい。
 - ・ 友達の持ち物を欲しがる。
 - ・ 冗談が通じない。

支援が必要な子どもたちへの関わり方

誰でも、得意なことがあれば、苦手なこともあります、一人一人ちがいます。そのため、一人一人の特徴に応じて支援していくことが大切です。

愛情のメッセージを送りましょう

できたことをたくさんほめて、「私はあなたが好きでいて、誰よりも愛している！」というメッセージを絶えず送り続けることがとても大切です。そうすることで、こどもに自信をもたせ、自己存在感が育まれます。

視覚的な情報を提示して説明しましょう

言葉で言われるよりも、目で見て分かる情報があると、自分ができるべきことが分かり、見通しをもって行動することができます。こどもが理解している言葉を使って、写真や絵カードを添えて説明するといいいでしょう。

得意なことをたくさん増やしましょう

不得意なことばかり目を向けるのではなく、得意なことを伸ばすように心掛けることが大切です。得意なことが伸びてくると、やればできるという気持ちがあり、本人の自信にもなります。

(裏へつづく)

～ほっとルーム～
(子どもみらい課内)

子育ての中で、気になること等ありましたら、一人で悩まず、いつでも気軽にご相談ください。一緒に語りましょう。

TEL : 33-5654

FAX : 32-3124

こどもの可能性や能力を伸ばすためにどのようなことが大切ですか？



- 1 日常生活や学習をする上で、どんなことに困難があるかを整理しましょう。
- 2 その困難さに対して、どのような支援がどの程度必要かを考えましょう。
- 3 「好きな活動や遊び、意図的に取り組んでいることは何か？」を具体的にあげましょう。
- 4 気持ちを表現することや集団の中の他者との関わりの様子を観察しましょう。



〈「就学相談・支援の手引き」鹿児島県教育委員会より〉

令和6年度更新版「親子の笑顔を増やす かごしま家庭教育ナビ」より

1回目の長子家庭訪問が終わりました

家庭訪問では、それぞれのご家庭で、子どもさんの頑張りや、子どもさんに寄り添い、ご家族で頑張っている様子などをお聞きすることができました。子どもさんの下校でお忙しい時間に訪問させていただいたご家庭もありましたが、お話しできたことを有難く思っております。お時間をいただきありがとうございました。

ありがとう



身近な人と楽しい時間を分かち合う

「苦楽をともにする」という言葉がありますが
「苦しいこと」の前に「楽しいこと」を共有しなくてははいけません。
ご主人でも、ご両親でも、まずは楽しい時間を過ごしましょう。
「お母さんの好きな和菓子を買ってきましたよ」
「あなたの好きなおつまみを作ってみたよ」という時間が多いほど
子育ての大変さも分かち合うことができるのです。



佐々木 正美著：「花咲く日を楽しみに 子育ての悩みが消える32の答え」より

県の相談機関

かごしま教育ホットライン24 ☎0120-783-574
☎099-294-2200 ※携帯電話からはこちら
24時間子どもSOSダイヤル ☎0120-0-78310
PTAすくすくライン(家庭教育やしつけについて) ☎099-251-0309